スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

千葉県印西市

自 治 体 名 ： 千葉県印西市
担 当 課 名 ： 印西市教育委員会指導課
電 話 番 号 ： 0476-33-4705

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	123,79k㎡
人口	112,305人
公立中学校数	9校
公立中学校生徒数	3,288人
部活動数 （運動部活動のみ）	97部活
地域クラブ活動数	9クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

－印西市の部活動における実態－

● 大規模校と小規模校の混在

令和7年度

大規模校　802人

小規模校　40人

令和12年度

大規模校 1584人（推計）

小規模校　27人

● 部員数の格差

最多：70人　最小：2人

● 部活動設置数の格差

● 部活動設置の性別的な差

● 学校施設のキャパシティー

－実態調査アンケートについて－

● 教職員向けアンケート

Q休日の指導を希望するか？

希望する：3割　希望しない：7割

● 指導者向けアンケート

Q地域移行の受け皿になれますか？

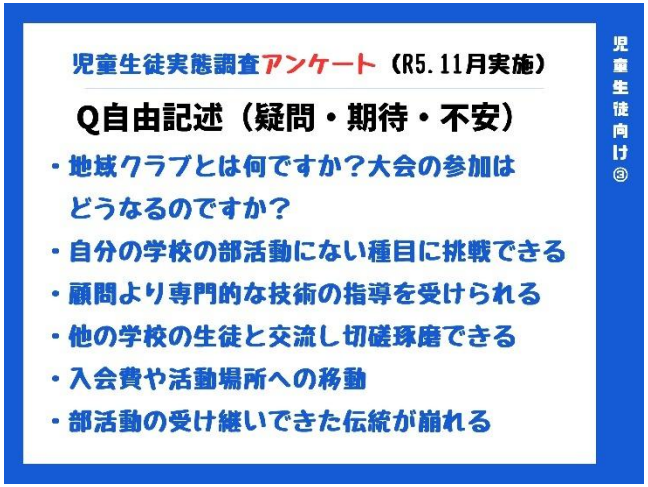
スポーツ協会・スポーツ少年団ともに可能な限り協力するが運営は厳しい。

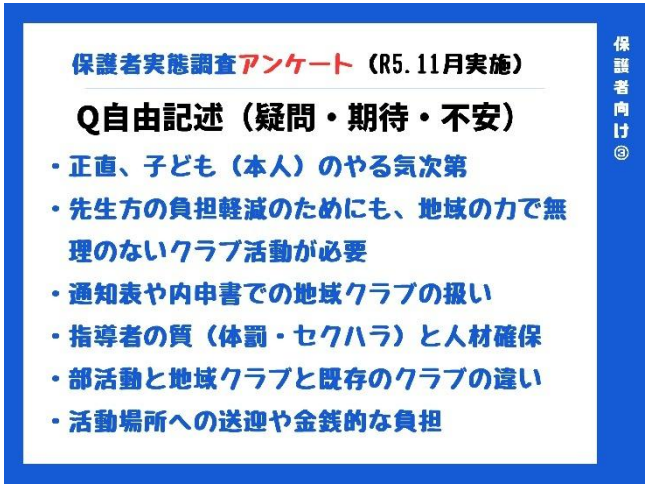
● 生徒・保護者向けアンケート

Q地域移行についてどう考えますか？

全体的に否定的な意見が多い。

詳細についてはイメージがついていない。





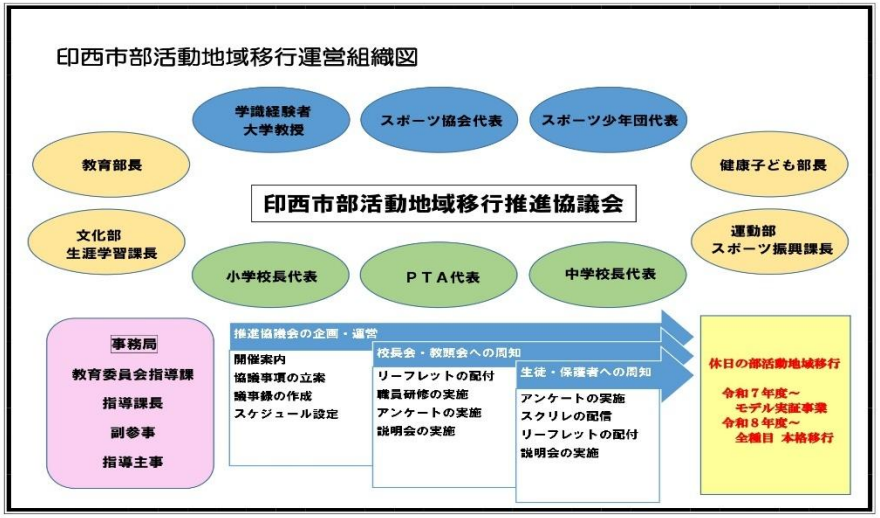
出典：印西市教育委員会主催夏期研修講座資料

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会
- 印西市部活動地域移行推進協議会の企画・運営
- 学校施設の目的外使用や生徒の登録、教職員の兼職兼業に係ること
- 部活動地域移行（印西NEXUS）運営事務局との連携

◉スポーツ振興課・生涯学習課
- 指導者確保の案内
- スポーツ協会・スポーツ少年団との調整
- 公共施設・公民館の出前講座との連携

年間の事業スケジュール

令和7年4月13日	地域移行全体説明会
令和7年4月30日	地域移行リーフレット⑦配付
令和7年5月中	事務局学校訪問
令和7年6月20日	全国地域展開カンファレンス
令和7年6月28日	バレークラブ個別説明会
令和7年7月14日	地域移行リーフレット⑧配付
令和7年7月31日	第1回推進協議会
令和7年8月3日	野球クラブ個別説明会
令和7年9月6日	印西NEXUSスタート
令和7年10月31日	事務職員向け研修会
令和7年11月1日	地域移行リーフレット⑨配付
令和7年11月18日	第2回推進協議会
令和8年1月中	各中学校新入生保護者会
令和8年1月22日	第3回推進協議会
令和8年2月24日	地域移行リーフレット⑩配付
令和8年3月1日	広報いんざい
令和8年4月11日	印西NEXUS説明会

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		9クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		9クラブ（17部活動）
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		0クラブ
全体の指導者数	19人	全体の運営スタッフ数	4人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
印西NEXUS船穂野球クラブ	業者委託	軟式野球	• 休日1回	3時間程度	2年：20人 1年：6人	令和7年9月～	2人	4人（兼務）	市費負担	拠点校部活動
印西NEXUS木刈バレーボールクラブ	業者委託	女子バレーボール	• 休日1回	3時間程度	2年：13人 1年：18人	令和7年9月～	2人	4人（兼務）	市費負担	行政主導地域クラブ

③その他、体験会やイベント等の開催実績

6月～7月　各クラブ別個別説明会
2月21日（土）順天堂大学女子バレーボール部主催印西NEXUS交流練習会の開催

2.実証内容と成果

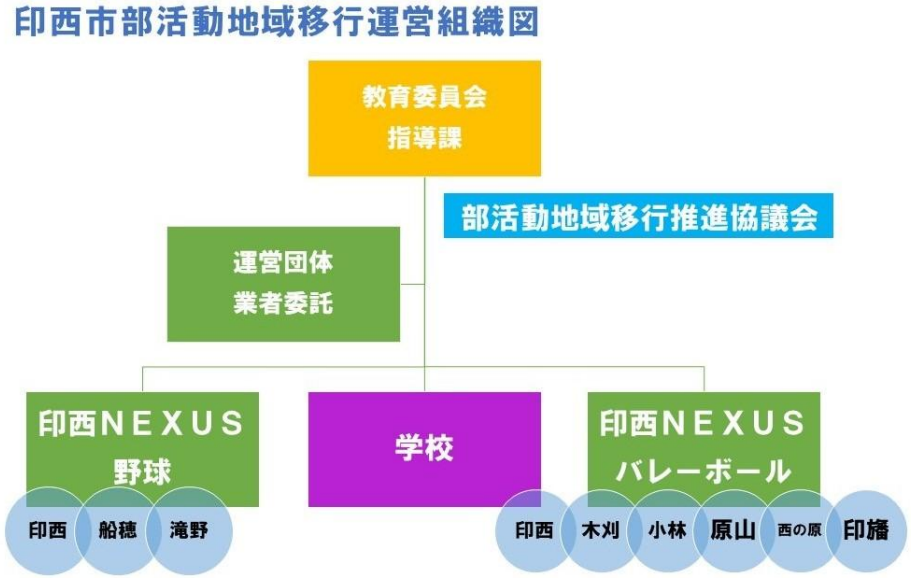
スポーツ庁

主な取組例

●行政主導地域クラブ（印西NEXUS）　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	軟式野球・女子バレーボール
運営団体名	地域クラブ（印西NEXUS）事務局
期間と日数	軟式野球 （令和7年9月～月5回程度） 女子バレーボール （令和7年9月～月5回程度）
指導者の主な属性	兼職兼業の教職員含む地域の指導者
活動場所	拠点中学校のグラウンド・体育館
主な移動手段	自力による移動もしくは保護者に送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	部活動と地域クラブの並行実施のため市費（委託費）による負担
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

- 自治体（教育委員会）
  役割：運営団体（委託業者）との調整　学校への説明　大会主催者との協議
- 運営責任者（委託業者）
  役割：地域クラブの設立　指導者の確保・配置　関係団体へのクラブ登録・申請
  指導者への謝金の支払い　事業満足度アンケート　等
- 指導者　各クラブ2名体制　（主任・副主任指導者）
  役割：活動のスケジュール設定　指導日報　平日顧問との連携　顧問会等への参加

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- 令和7年9月からのモデル事業の実施を目指し、民間事業者に地域移行の運営を業務委託する。
- 地域クラブ10クラブ（軟式野球4クラブ・女子バレーボールクラブ6クラブ）を設置し運営する。
- 生徒の登録、指導者の確保・採用・配置、指導者への謝金の支払い。
- 大会主催者（千葉県小中学校体育連盟・各競技専門部）と連絡。
- 千葉県小中学校体育連盟へのクラブ登録事前申請。
- 各競技専門委員長との協議。
- 各協会・連盟登録システムへのチーム登録、選手登録、登録費の納入

今後の取組における課題

- 千葉県小中学校体育連盟各専門部と協議して大会参加規定細則を確認した上で子どもたちに不利益がないようクラブを設置。
- 大会役員や大会運営の業務を含めた指導者の採用。
  指導者資格・審判資格等の有資格者の指導者の確保。
- 受益者負担の徴収と指導者への謝金の支払い。
- 本格実施70クラブ（12種目）運営。



取組の成果

- 株式会社アーシャルデザインに運営業務委託
- 印西市部活動地域移行全体説明会の実施
  レジェンドアスリート（大山加奈氏）による特別講演
- 印西NEXUS（行政主導型地域クラブ9クラブ）の設置運営
- 連絡アプリ«b+forメンバー・コーチ»で生徒・指導者の管理
- 大会主催者（千葉県小中学校体育連盟・各競技専門部）と協議地域クラブとして参加できるものについては地域クラブで大会参加

課題への対応方針

- 印西NEXUS（市教委+アーシャルデザイン）事務局での情報・課題の共有
- 課題への解決策の協議
- 学校側への対応（市教委）＋ 地域クラブへの対応（アーシャルデザイン） 週1回のミーティングを通して事務局内の連携を図る。

AcialDesign

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

コーディネーターの具体的な動きの実績

- 市教委
  学校に関わること、兼職兼業の教職員に関することへの連絡調整
- 事務局スタッフ（アーシャルデザイン）
  生徒登録・保護者窓口
  指導者の採用・契約・配置、指導者の調整、謝金の支払い
  チーム登録と大会参加申請、ユニフォーム発注等
- 事務局コーディネーター
  地域クラブ巡回、クラブ運営における指導者の相談相手

運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

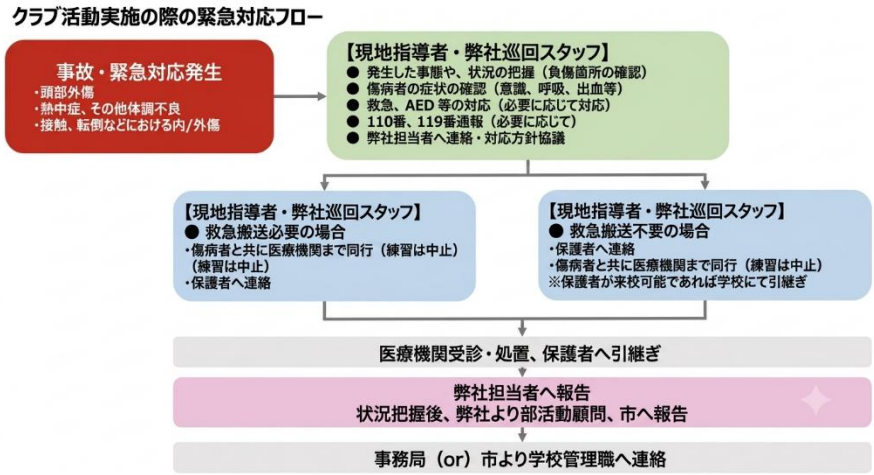
- 指導者2人体制
  体罰・ハラスメント対応のため原則2人での指導
- 指導者資格の取得
  JSPOスタートコーチ 各専門部が示す指導者・審判資格
- 日本部活動研究協会　部活動指導員検定3級・2級
- アーシャルデザイン法規研修

地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

- 生徒管理アプリ『b+forメンバー』
- 指導者管理アプリ『b+forコーチ』
  生徒/指導者管理　スケジュールの共有
  出欠登録　メッセージ　謝金支払
  ユニフォーム（ECサイト）の直接購入
- ソフトバンク社「AIスマートコーチ」
  自主練習や平日部活動での練習メニュー考案
  プロ選手のプレーをオンデマンドで活用



地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

- 指導者確保に向けて
- 兼職兼業の教職員
- 印西市スポーツ協会・印西市スポーツ少年団
- 印西市部活動サポーターの活用
  →既に中学生への部活動指導経験がある地域人材
- 地元の順天堂大学との連携
  →順天堂大学女子バレーボール部との連携
- ちばクラサポでのマッチング　アーシャルデザイン人材バンクのマッチング
  →指導者資格の提示　有資格者の確保　資格取得の依頼

今後の取組における課題

- 地域クラブ設立要件の有資格指導者の確保が困難
- 種目によって指導者資格に差異
  ⇒ 一律の指導者資格の募集ができない
  ⇒ 対面講習での指導者資格講習のタイミング
  ⇒ オンデマンド型資格講習
  ⇒ 指導者資格取得のための支援
- 兼職兼業の教職員に対する資格免除の特例
  ⇒ 各種目のチーフ教職員との連携
  ⇒ ブロック長、印旛郡専門委員長、千葉県専門委員長との連携

取組の成果

- バレーボールの小中体連大会参加規定より
- JSPO公認スタートコーチ配置
- 兼職兼業の教職員と無資格者はJSPOスタートコーチを受講
  ⇒行政主導型地域クラブとして6チーム設立
  ⇒地域クラブとして千葉県小中体連主催印旛支部新人戦に参加
- 顧問会議への地域指導者の参加
- 専門部の大会役員の参入
- 平日顧問との休日指導者の連携

課題への対応方針

- 大会主催者との協議
  千葉県小中体連印旛支部専門委員長会議への参加・情報交換
- 大会申請のスケジュール確認
- 大会申請の文書書式の確認
- 行政主導型地域クラブとしての大会参加に向けて
- 地域クラブでの表彰の取り扱いについて
- 通知表・調査書への記載について

2.実証内容と成果

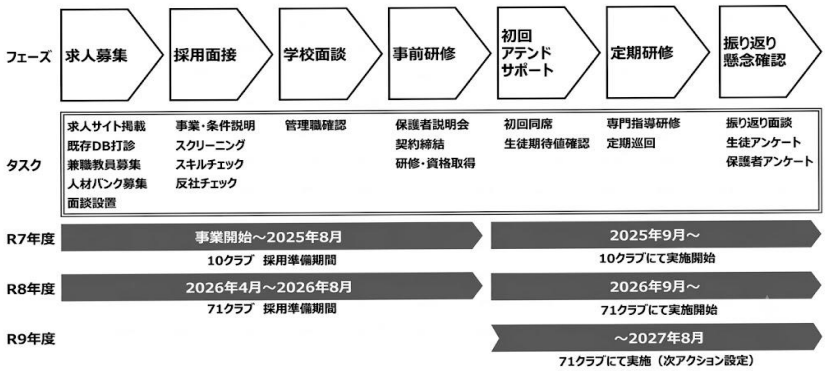
スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

多様な人材の発掘・配置に向けた取組

採用～指導開始～安定運用までのフロー



指導者研修の内容

研修名	部活動指導員検定3級・2級
講師	一般社団法人 日本部活指導員検定試験
研修内容	1. 学校一般科目 部活動ガイドラインの内容を修得 2. 指導分野専門科目 種目の専門的な知識・技能を修得 3. 部活動教養科目 部活動における歴史、現状、展望について修得

その他の研修

- 部活動における法令・コンプライアンス研修
  桜美林大学　スポーツ法担当弁護士
- ジュニアアスリートコーチ養成講座（怪我予防）
  日本コンディショニング協会
- JSPO公認スタートコーチ　コーチ1
- 各協会・連盟が求める指導者資格

指導者研修受講者の声

●参加者の声

参加者（地域指導者）
現場で求められる知識だけでなく、部活動における指導者としての心構えや、生徒とのコミュニケーションの重要性について具体的で実践的な内容が含まれていた。

参加者（兼職兼業）
生徒の成長をサポートするための「共育」という視点に基づいた指導法や、地域との連携の意義が具体的に説明され、私自身の考え方や指導スタイルを再考する良い機会となりました。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- 指導者確保という観点から、市スポーツ協会や市スポーツ少年団との連携は必要不可欠で、地域の指導者として連携を深める。
- 印西市に拠点を置く順天堂大学との連携も視野に入れ、順天堂大学の各種目に専門的に取り組んでいる学生と部活動地域移行への連携を模索する。

取組の成果

順天堂大学女子バレーボール部と印西NEXUS運営事務局が連携し、学生の指導者派遣による指導者の確保が実現した。

女子バレーボール6クラブ
Aクラブ　主任：教員OB　副主任：地域指導者
Bクラブ　主任：兼職兼業　副主任：順大学生
Cクラブ　主任：兼職兼業　副主任：順大学生
Dクラブ　主任：地域指導者　副主任：近隣大学生
Eクラブ　主任：兼職兼業　副主任：順大学生
Fクラブ　主任：地域指導者　副主任：地域指導者
※兼職兼業の教職員が指導するクラブに副主任指導員として配置
教職課程（体育教師）を目指す学生を配置している。

順天堂大学さくらキャンパス



この取組の成果

- 生徒と年齢も近く、バレーボールが上手なお姉さん的存在で触れ合うことができるため、生徒たちも喜んで接している。
- 指導者に男性が多いため、女子の地域クラブ指導のためには貴重な存在。

順天堂大学

順天堂大学さくらキャンパス
所在地：印西市平賀学園台1－1
最寄駅：京成酒々井駅
最寄りが京成線のため、印西市内へのアクセスが悪く、原付バイクでの移動が中心になる。

今後の課題と対応方針

- 学生が在籍する期間での指導者配置になるため長期間での指導は望めない。
- 子どもたちの活動のモチベーションを考えると副主任指導者としての関わりを今後も継続していきたい。
- また他の種目でも同様の関わりができるよう連携を深めていく。

2.実証内容と成果

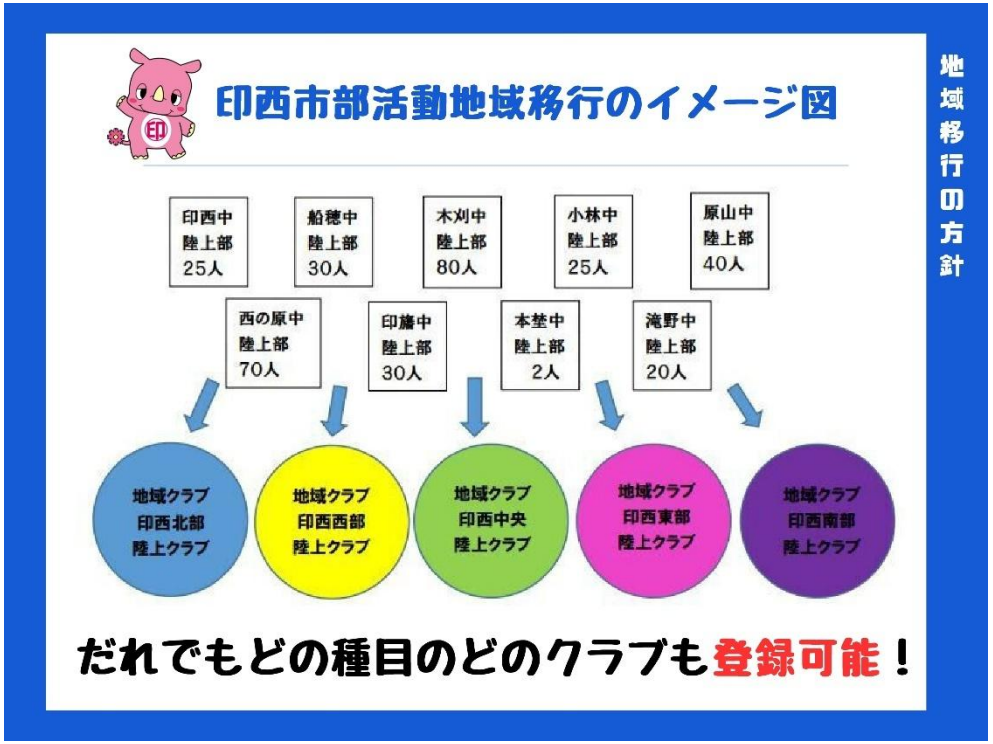
取組内容

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

地域クラブ化の方向性

印西市部活動の課題から

- 大規模校と小規模校の混在
- 学校部活動を置き換えた地域クラブの実施では、教職員の働き方改革につながっても、子どもたちの持続可能なスポーツ・　文化芸術活動にはつながらない。
- 小規模校では部活動を維持することが難しい。
- 部員が少なく練習が成り立たない。大会に参加できない。
- 部活動を理由に学区外就学を申請し、ますます小規模校化が進む。
- 大規模校では過剰な部員数と活動場所の問題がある。
- 1つの部活動で80人近い部員が所属する。
- 部活動を新設しようにも活動できるスペースがない。



出典：印西市教育委員会

今後の課題と対応方針

学校部活動の置き換え型ではない地域クラブの設置を目指す。市内中学生に公平にスポーツ・文化芸術活動の機会を与えるために、種目に取り組む生徒数を把握し、市内で適正クラブ数の地域クラブを設置し持続可能な地域クラブの運営を目指す。部員の多い陸上競技は9クラブ、部員の少ない柔道は1クラブのように部活動実態調査から適正クラブ数を設置。

しかし、学校部活動ではない形で地域クラブを設置すると、様々な面で課題がある。保護者の送迎の問題、大会参加の要件、活動拠点の設置等、学校の取組ではないことから、今までの部活動の取組ではない形での部活動地域移行を模索していかなければならない。小中体連や各競技専門部と密に打ち合わせを行い子どもたちに不利益がないようにする。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

取組事項

印西市の部活動の課題

● 大規模校と小規模校の存在
部活動の置き換え型の地域移行では、持続可能な子どもたちの活動を保障することができない。
⇒市内の中学生が公平にスポーツ・文化芸術に取り組める環境づくり
⇒子どもたちが選択できる地域クラブの設立
⇒将来的に、“習い事”として多様な選択肢

今後の取組における課題

● 地域クラブ化に向けての改善点
- 地域クラブの方針を明確化し、中学生・保護者に周知する。
- 活動に取り組む生徒へ公平な練習機会や試合機会を提供する。
- クラブ生徒数に応じた指導者人数を配置する。
- 地域クラブ専用の練習道具、ユニフォーム、備品を整備する。
- 事務局のクラブ支援を充実させる。
- 連絡アプリを充実させる。
- 実態調査アンケートの課題に対しての対応策を講じる。

取組の成果

● 部活動と地域クラブの差
生徒や保護者のアンケート結果より
○ 部活動より人が増えて、高いレベルで練習に取り組むことができる
○ 顧問の先生より専門的な指導者に教えてもらうことができる
○ すごく丁寧に熱心に指導してもらっている
△ 人数が増え、部活動の時より試合に出場する機会が減った
△ 受益者負担を支払う事業なのに、生徒によって差が生じている。
△ 部活動と地域クラブの違いが明確ではない

課題への対応方針

● 運営事務局のクラブ巡回の強化
● 運営事務局の地域クラブサポートの強化
● 各クラブのスケジュール把握の早期化
● コーディネーターによる指導者へのサポート
● 指導者への地域クラブ方針徹底と研修
● 部活動地域移行事業の課題の抽出・検討・対応
● 市教委と運営事業者の情報共有

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実

取組事項

- 部活動地域移行全体説明会 @印西文化ホール
  大山加奈氏（元バレーボール日本代表）特別講演
  印西市の部活動地域移行について
  印西市の地域クラブの運営について
- 部活動地域移行リーフレットの発行
- 印西NEXUSの発足
- 印西NEXUSのユニフォームの作成





出典：印西市教育委員会記録

取組の成果

- 印西NEXUSとしての土台づくり
  持続可能なスポーツ・文化芸術の受け皿＋働き方改革
  ⇒学校部活動と切り離した地域クラブ活動の設立
- 地域クラブだからこその選択肢
  - 自分の所属する拠点以外のクラブへの参加（クラブ選択）
  - 平日サッカー部と休日バレークラブのマルチスポーツの取組
  - 自分の学校部活動にない種目への挑戦
  - 地域クラブだけの所属

  ⇒子どもたちのライフスタイルに合わせたスポーツとの関わり

課題への対応方針

- 学校部活動の意義を継承し、学校部活動を超える新たな価値を創造
  『NEXUS』とは・・・
  【結びつき】【連携】【つながり】を意味する言葉で、
  スポーツ・文化芸術活動を通して、学校と地域、様々な世代の方や地域の方とのつながりを象徴し、印西市全体で一体感・団結力が深まる事業にしたいという思いをこめて命名しました。
  部活動地域移行（印西NEXUS）が新たな歴史のスタートです。
- 印西NEXUSカップ等新たな大会を創出し、市内中学生の交流を図る。
- 生徒に合った地域クラブへとカスタマイズすることができる。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

- ● 休日部活動の受け皿になる地域クラブ
- • 休日部活動での使用がなくなる学校施設の活用を想定
- • 部活動のグラウンド割、体育館割の打合せに事務局が参加
- • 部活動のとなりで地域クラブが活動
- ● 学校施設の管理（開錠・施錠）
- • 体育館トイレ・体育館にあるAEDを使用
- • 部室・体育倉庫・学校備品の借用

今後の取組における課題

- ● 校舎内での地域クラブの利用（開錠・施錠）
- • 吹奏楽部の地域クラブ化
- • 音楽室の利用、パート練習場所としての教室利用
- • 機械警備の解除
- • 学校内の外部指導者の行き来
  ⇒まずは兼職兼業の教職員での指導を前提で進める。
- ● 吹奏楽楽器の購入・修繕
- • 楽器の購入・修繕に莫大な予算が必要
- • 地域クラブの受益者負担でまかなうべきなのか

取組の成果

- ● 休日部活動の受け皿になる地域クラブ
- • 事務局による練習スケジュール管理
- • 学校部活動担当との連携
- ● 学校施設の管理（開錠・施錠）
- • 地域クラブ指導者による施設管理
- • ボール等の借用と地域クラブ備品の共有
- ● 課題の共有
- • 学校側と地域クラブ側のそれぞれの課題の抽出
- • 種目によって消耗品かかる費用に差異

課題への対応方針

- ● 校舎内の機械警備の開錠・施錠について
  ⇒外部の人間を校舎にいれるのか・いれないのか？
  ⇒機械警備の範囲を変更するのか・しないのか？
  ⇒金曜日と月曜日に卓球台を体育館へ移動するのか・しないのか？
  ⇒楽器の保管をどこにするのか
- • 吹奏楽クラブと卓球クラブが対象
  ⇒顧問の先生方と協議を重ね最善の方法で地域クラブ化
- ● 吹奏楽部の地域クラブ化
  ⇒学校部活動単位でのコンクール・イベント参加
  ⇒休日の練習時間のための地域クラブ化

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

- 令和5年度設置の印西市部活動地域移行推進協議会で設定した計画通り、印西市内のモデル事業（軟式野球3クラブ・女子バレーボール6クラブ）をスタートすることができた。
- 子どもたちに不利益がないように丁寧に議論を重ね、しっかりと準備をしてのモデル事業であるが、想定していたこと以外の多くの課題に直面した。
- 運営業者と何度も協議を繰り返し、日々の活動に試行錯誤しながら取り組んできた。良い収穫を得る場面もあれば、根本的な問題に解決できない事案も多数あった。
- 生徒・保護者向けの実態調査アンケートでは、一定数の成果を得られるコメントもあったが、改善が必要な点を指摘されるコメントもあった。事務局として配慮していかなければならないポイントを抽出することができた。
- モデル事業の中で、印西市が掲げている部活動地域移行の方針である“子どもたちが公平にやりたいスポーツ・文化芸術活動を選択することができる”の好事例が見られた。
- まだまだ課題山積の事業であるが、次年度の休日の部活動地域展開本格実施に向け、修正を繰り返しながら良い取組になるよう推進していく。
- 今後、平日部活動の印西NEXUS化を検討していく。
- 兼職兼業の教職員の扱いについて精査していく。
- 地域指導者の大会役員への参画や、顧問会の日程について大会主催者と協議していく。

●成果の評価

- 丁寧に準備をしてきたモデル事業を実施することができた。
- 小中学校体育連盟が示す大会参加規定細則に則り、地域クラブを発足することができ、大会参加することができた。
- 兼職兼業の教職員の指導の良い点と地域の指導者の指導の良い点を検証できた。
- 地域クラブで予選を勝ち抜き、千葉県大会出場チームもあった。
- 部活動と地域クラブの違いについての理解について大きな差異が生じているため、それぞれの立場で地域移行についての言及があった。学校・生徒・保護者へ地域クラブについての基本理念を丁寧に説明する必要がある。
- 地域移行（地域クラブ）したからこそ、学校部活動では見られないスポーツ・文化芸術活動に取り組むことができた事例を可能にした。
- 地域クラブでの大会参加を達成したことにより、今後の地域移行の方向性ややるべきことが明確に見えてきた。
- 全国の自治体から問い合わせが増加している。
- 次年度の本格実施に向け、丁寧に準備し市内の地域移行を推進していく。

●今後に向けて

- 次年度9月より市内すべての休日の部活動を停止し、その受け皿となる地域クラブを設置し部活動地域展開本格実施（全12種目70クラブ）していく。
- 吹奏楽・卓球等の校舎内で活動するクラブ開設のため、機械警備をどうするのかを運営会社を含め、学校、顧問等で協議をして運営方法を検討していく。
- 人材確保に向けて、市内関係団体への広報活動とともにちばクラサポの活用、人材バンクの発掘等に力を入れていく。
- 丁寧な説明を心がけ、印西市全体にとって良い取組になるよう周知する。

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

アンケート結果・参加者/関係者の声

●アンケート結果

Q.印西NEXUSの活動に満足していますか？＜女子バレーボール＞

満足度
（生　徒） 71.9%
（保護者） 47.2%
○指導者の質の向上と2名の安全体制に対する安心感から約70%近い評価がある。
△スケジュールの提示が遅く送迎等の予定が立てられない。

Q.印西NEXUSの活動に満足していますか？＜軟式野球＞

満足度
（生　徒） 71.9%
（保護者） 47.2%
○練習試合・遠征の機会が増えた。
○新しい仲間と切磋琢磨できる。
△試合出場や練習機会の不満。
△ユニフォームレンタル制度への不平等感。

Q.休日の指導をしなくなったことで負担は軽減されていますか？

休日の指導をせずに休日を過ごすことができるようになった顧問の先生対象
負担が軽減された：91%
⇒休養・リフレッシュ：66%
家族との時間：50%
校務・教材研究：32%
趣味・挑戦：16%
ボランティア：16%

Q.次年度の印西NEXUSの活動に兼職兼業で指導を希望しますか？

（小学校）298人回答
指導者を希望：1人
指導者を検討：18人（6%）
（中学校）133人回答
指導者を希望：18人（13.5%）
指導者を検討：29人（21.8%）
※令和4年度アンケートと変化なし、約3割の中学校教員が指導に興味あり。

●参加者/関係者の声

参加者/生徒
学校部活動ではここまで戦えていない。地域クラブだからこそ今までプレーできないステージで試合をすることができている。単独の部活動に戻りたいと言う友だちもいるが、僕はこの活動が良い。

参加者/保護者
指導者が、兼職兼業の先生のクラブと地域の指導者のクラブで、クラブ運営や練習の雰囲気が全然違う。あまり部活動と変わらない。事務局には各クラブの支援に入ってほしい。

参加者/指導者
地域クラブ用の備品や道具を充実させてほしい。学校部活動との違いを出して、フィジカルトレーニングや栄養指導等特別講演のような形のイベント等もあると良いと思う。

参加者/学校管理職
地域移行を推進するならば、学校活動から切り離した独立した地域クラブにすることが必要になると考えます。中途半端な形で地域移行するとかえって様々な課題に直面すると思います。

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

参考資料



【地域クラブでの大会参加】



【印西NEXUSユニフォーム】



【千葉県小中体連主催印旛支部新人戦優勝】



【印西NEXUSの一員】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年	令和6年	令和7年			令和8年
印西市 部活動地域移行 推進協議会 設置	方針決定 委託による運営 リーフレット配付	予算要求 プロポーザル 業務委託	全体説明会 個別説明会 モデル事業開始	モデル事業開始 大会参加 実態調査	全体説明会 休日部活動の停止 地域展開本格実施

● 部活動地域移行のための現状把握
教職員実態調査（令和4年10月）
1地域移行について
　賛成：80%　反対：20%
2休日の指導について
　希望する　28.4%　希望しない　56.7%
市内中学校の部活動の実態
大規模校（850人）と小規模校（25人）の混在
部活動設置数の差
部活動新設が困難　部活動の廃部が困難

● 印西市部活動地域移行推進協議会
- 市内中学生に公平にスポーツ・文化芸術活動の機会や受け皿の設置
- 指導したい教職員と休みたい教職員のどちらにも働きがいのある職場へ
- 部活動置換型ではない行政主導の地域クラブの設置へ（生徒が選択可能）

● 印西市独自のスケジュール
令和8年度すべての休日の部活動の停止
その受け皿となる地域クラブの設置

● 地域クラブ運営の可能性の検討
スポーツ協会・スポーツ少年団・総合型スポーツクラブ・その他の運営の検討
　⇒民間業者への業務委託を検討

● 運営業者の委託に向けて
- 予算確保
- 債務負担行為による長期契約
- プロポーザル審査委員会設置
- プロポーザル公告
- プレゼンテーション審査
- 契約

● 議会や市民への説明
- 地域移行リーフレットの発行

● モデル事業に向けた準備
小中体連役員との協議
生徒・保護者向け全体説明会
大山加奈氏による特別講演
生徒登録
指導者確保（審査・配置）
クラブ別個別説明会

● 地域クラブのスタートに向けて
チーム登録
大会参加申請
ユニフォーム作成
統合クラブ名 印西NEXUSの発表

● 地域クラブとしての大会参加
軟式野球：拠点校部活動
バレーボール：地域クラブ
※地域クラブ指導者による大会運営参画

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

令和7年度 モデル実証
- 野球3クラブ　女子バレーボール6クラブ
- 地域クラブ（印西NEXUS）運営の検証

令和8年度 本格モデル
- 全12種目約70クラブ（休日の部活動停止）
- 受益者負担徴収・謝金の支払いの検証

令和9年度以降 本格実施
- 印西市部活動地域展開本格実施
- 地域クラブ運営の自走に向けて